

日 時：平成 29 年 10 月 12 日（木）18 時 30 分 ～20 時 00 分

場 所：南田中ふれあいセンター

対象地区：南田中

参加人数：18 名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○南田中地区の集会所の名称変更の周知について</p> <p>（市民から）</p> <p>今年の 1 月から、南田中ふれあいセンターを活用しているが、いまだに東公民館の名称で市の催し物の案内がくることがある。市役所内で、名称が変更となったことについて周知していただきたい。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・正式名称である南田中ふれあいセンターで連絡などを行うよう、指示する。
<p>○防災無線について</p> <p>（市民から）</p> <p>防災無線の内容について、私の家ではあまり聞こえない。災害時に自動的に音量が大きくなる仕組みとなっているのか。スピーカーの下に住んでいる人は大変うるさいと思うが、命に係わることなのでお尋ねしたい。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・どこの地区でどのように聞こえないかという事について、後日聞き取り調査をさせていただきたい。地区によっては、両方向から無線が聞こえることにより、内容が聞き取れないという声も上がっていた。全てを解消することはなかなか難しいと思うが、出来るだけ解消できるよう調査を行い、町会長を通して連絡を行うようにしたい。
<p>○Jアラートについて</p> <p>（市民から）</p> <p>先日、Jアラートが鳴った。この地区は高齢の方も多いため、わかりやすい対応のマニュアルを示していただきたい。また、この南田中ふれあいセンターは避難場所として指定されているものと思われるが、町内の人があることを知らない状態である。この集会所について、平川市の指定避難場所である旨の表示をしてもらえれば、一つの目安になると思う。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・広報を通して皆さんへ対応について周知したい。

- ・10月15日発行の広報において、ミサイルの対応について案内をするよう作成を行っている。
- ・頑丈な建物が無い場合は、出来るだけ窓の少ない場所に避難するほかないのではないかと考えられる。他の市町村でも対応に苦慮している様である。マニュアルについてはわかりやすい内容で作成する。

○AEDの配置について

(市民から)

先日、町会の防災訓練のなかでAEDの訓練を行ったが、AEDは近隣では金田小学校まで行かなければ使用できない。AEDが必要となる時は、1分1秒を争う状況である。集会所が公共施設である以上、市で集会所にAEDを配置するべきではないか。

(市から)

- ・AEDは市内82箇所に設置している。以前、集会所にもAEDを配置する計画があったが、実際、集会所は普段施錠されているため、AEDが必要となった場合はどのように使用するのかという問題もあり、現在の状況となっている。今回の意見は参考にさせていただきたい。

(市民から)

それであれば、町会長の自宅に配置する方法ではどうか。

(市から)

- ・過去の懇談会においても、集会所へのAEDの配置については意見が出されている。AEDについては5年くらいでの交換が必要となっている。費用が高額であるものの、命には代えられない。町会で救命活動をする場合、どのような形とすればよいのかについては、検討してみたい。ただ、集会所が施錠されている以上、集会所への配置は難しいものと考えられる。

○県道と市道の除雪について

(市民から)

県道と市道の交差点について、県や市に除雪を依頼した際、双方から管轄が違う旨の説明を受けることがあった。県道と市道の交差点の除雪の方法がわかりにくいので、改善願いたい。

(市から)

- ・県道と市道の除雪路線について、除雪業者が決まったら路線図と業者の連絡先を町会長へ差し上げたい。県道と市道の交差点について、交差点に残った雪の除雪は、県と市のうち、後に入った業者が片付けることとなっている。市へ連絡があった場合は、業者へ

指示を行いたい。

○金田小学校正門前～大鰐浪岡線までの側溝について

(市民から)

該当の箇所について、県道となっていると思われるが、雨が降った場合、冠水しやすい状態となっている。改善願えないものか。

(市から)

・金屋尾上線の道路整備について、平成24年に県の方で事業を行っている。しかし、国土調査の結果を現地に復元したところ、現況との差異があり境界を確定できないという事であったため、工事を休止し、平成25年度から国土調査の再調査を行っていた。調査は昨年完了し、新しい図面が登記されたため、今年度は皆さんに工事の同意をいただき、来年度から県に対し工事が再開できるよう要望していきたい。その進捗状況については改めて町会長へ連絡したい。

○尾上庁舎のあり方について

(市民から)

新庁舎の建設にあたり、尾上の庁舎が今後どのような形になるのか伺いたい。

(市から)

・先般、尾上庁舎の活用について、町会長との懇談会を開催したところである。今後も、新庁舎が建設される平成32年まで、尾上地区の皆さんの要望を聞きながら検討していきたい。尾上の支所は残るが、教育委員会、建設部、経済部は本庁舎に移動することとなる。尾上地区の賑わいをなくしないような活用の方法について検討していきたい。

○天内の神社～庚申塚の側溝の修繕対応について

(市民から)

一昨年の懇談会の際、該当の箇所について要望したところである。いまだ修繕がなされていないため進捗状況を伺いたい。

(市から)

・要望のあった箇所については所々にたるみがあり、水が溜まりやすいという話であったものと記憶している。工事の優先順位を考慮すると、平成33年から3年間くらいかけて完成させる計画である。工事に取り掛かるまで時間がかかることについて、ご理解いただきたい。具体的な工事の方法については内部で協議したい。

(市民から)

工事を必要とする場所について、民家が無い箇所が特に水が溜まりやすくなっている。

<p>(市から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庚申塚付近の側溝については、道路の両側の修繕の要望となっているが、他の工事に比べると緊急性が落ちてしまう。平成33年以降の対応でご理解いただきたい。
<p>○南田中ふれあいセンター付近～明光寺付近の道路の側溝について</p> <p>(市民から)</p> <p>側溝に勾配がなく、汚水がたまり悪臭を放っているため、改善願えないものか。</p> <p>(市から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会長とともに現場を確認する。工事の方法の確認と費用の見積りを行い、簡易な工事のできるのであれば、来年度の実施について検討したい。
<p>○下水道工事について</p> <p>(市民から)</p> <p>以前、下水道に接続する際に、流しの排水だけ、あるいはトイレの排水だけの工事は認められず、下水道工事を行う際は必ず両方を接続しなければならないと言われたが、どうなのか。</p> <p>(市から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当課へ確認し、町会長へ回答したい。
<p>○新庁舎の駐車場の配置について</p> <p>(市民から)</p> <p>現在の尾上庁舎の入口は、駐車場から離れており、特に冬期間の移動が大変である。新庁舎では改善してもらいたい。</p> <p>(市から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ要望に沿うように進めたい。移動の簡便化について、現庁舎と新庁舎予定地の間に高さ2メートルほどの段差があるが、その段差を利用して、一部は屋根付きの駐車場とし、庁舎まではエレベーターで行けるように設計を計画している。
<p>○市の情報発信について</p> <p>(市民から)</p> <p>新聞を見ると、弘前市や黒石市の情報発信が目につくが、平川市の情報発信が物足りないように思える。どんどん情報発信して平川市をPRするようお願いしたい。</p> <p>(市から)</p>

・情報発信については、必要と捉えており、今年度から情報発信の係を新設した。今後も市内外に向けて情報発信を行いたい。先般、東京で移住希望者に対して平川市のPRを行ってきたところである。移住希望者に対しては住宅の支援も行っており、県外、市外から来た人で住宅を建てる場合は支援の対象となっている。広報紙のデザインを新しくし、市内への情報発信を行っているほか、台中市との交流により海外への情報発信も行っている。情報発信については引き続き努力していきたい。

○屯所前の警鐘台に設置されているスピーカーについて

(市民から)

消防団の分団長より、屯所の前の警鐘台を解体する話を聞いた。警鐘台には町会放送のスピーカーが設置されている。解体により町会放送が聞きづらくなならないような方法で、解体を行ってほしい。

(市から)

・解体の際は、スピーカーの扱いについて町会と協議しながら何らかの方法を考えていきたい。

○南田中地区公園の樹木の伐採について

(市民から)

いちょうの木などが大きくなっており、高砂クラブで伐採してほしいという要望が出ているが、作業を行うには危険が伴うため、市の方で対応してほしい。

(市から)

・担当課の方へ連絡し、現場を確認した後に対応したい。

(市民から)

都市部の公園は、一部の遊具を設置し、余分な物を撤去しフラットにして避難所としても活用している。大きな樹木があることで大人の目が届かなくなっており、伐採してほしい。フラットにすることにより、遊び場にもできる。地区公園もそのようにしてはどうか。

(市から)

・児童公園をどのような形にしていくかについて、今日も協議を行ってきたところである。遊具に関しては2つくらい残しても良いのではないかという意見が出たものの、それ以外の公園のあり方については、今後協議させていただきたい。

○本庁舎と支所のあり方について

(市民から)

新庁舎の建設を計画しているようであるが、釜石市や陸前高田市では、東日本大震災の前に本庁舎を大きくして支所を無くしてしまったところ、本庁舎が津波の被害を受け、機能をなさなくなってしまった。尾上や碓ヶ関の支所をもっと利用してはいかがか。

(市から)

- ・尾上庁舎に、尾上の支所は残る。碓ヶ関については、碓ヶ関公民館を改修し支所機能を移転することとしている。支所機能が全くなくなるわけではない。

○空家の活用にかかる行政の支援について

(市民から)

町会の人の高齢化が進んでおり、高齢者を共同体で守って行こうと考えている。集落でデイサービスのようことをやりたいと考えているが、借家を借りて行くと経費がかかり、思うようにできない状況である。空家を活用してそのようなことを行うにあたり、行政の支援をいただくことはできないものか。

(市から)

- ・高齢介護課で、今まさに地区を回って同様の提案を受けているところである。空家を活用している例もあることから、今後、さらに細かく地区を回って話を聞いていきたい。事業者で行っているデイサービスについては、利用者によっては提供されるサービス全てを必要としていない。このことから、簡易なサービス、簡易な形で対応できるようなものについて、事業者と協議をしながら、新しいスタイルのサービスを提供できるよう考えている。頂いた話も参考にしながら進めていきたい。
- ・空家については南田中地区では20件把握している。老朽レベルが非常に高い特定空家は無いと認識している。今後設置される弘前圏域の空家バンクに情報を提供するため、空家所有者の意向について確認を進めていきたい。そのなかで情報を共有しながら、他市町村の方でも平川市の空家情報を見られるようにしていきたい。
- ・市で空家として把握しているのは、全体で約465軒である。それらの所有者のうち、貸してもよいという意向を示している方もいる。南田中では2軒ほど同様の意向が出ている。これらの活用について計画を組んでいくところである。
- ・以前、東京へ行った際に、平川市で暮らしてみたいという方がいた。あくまで個人的な考えであるが、そういった方に10日から2週間間の移住体験に空家を利用することも考えている。具体的には、今後、庁内で協議していくこととなる。空家については活用できるものは活用していきたいと考えている。